

Form 5

平成 23 年 2 月 25 日

## サイエンス・ダイアログ事業 実施報告書

1. 参加機関(学校名)・担当者: 青森県立八戸北高等学校 ・ 高木 和彦
2. 参加研究者: Andrew Lavender 博士
3. 実施日時: 平成 23年 2月 24日 (木) 13:50~15:30
4. 参加生徒: 2年生 38人、 1年生 1人、 0年生 1人 (合計 40人)  
備考: (例:理数科の生徒) 2学年 SSH コース生の生徒
5. 講演題目: (英文)EFFECT OF REGULAR EXERCISE ON PLASTICITY OF THE MOTOR CORTEX IN PREVIOUSLY SEDENTARY HUMANS  
(和文)加齢と運動が単一運動単位活動と大脳皮質運動野の機能に与える影響
6. 講演概要: 前半はオーストラリアの生活・習慣・風土などを紹介いただき、後半は演題についてご講演をいただいた。ともにパワーポイントを用いた分かりやすい説明、時折の中澤先生による日本語での説明も大変良かった。  
最後に15分ほど質疑応答をしたが、生徒はもっと会話を楽しみたかったとのこと。
7. 使用言語: 英語
8. 講演形式:
  - (1) 講演時間 85 分 質疑応答時間 15 分
  - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、プレ実験など)  
パワーポイントとインターネットをプロジェクターにて投影しながらの講演
  - (3) 通訳 (例: 受入研究者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)  
内容の難しい箇所では受け入れ研究者によるサポートがあった。
- 協力者 職・氏名  
東京大学大学院総合文化研究科 教授 中澤 公孝 氏
- (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)  
本校 ALT と英語・生物の教諭によるオリジナルのプリント
9. 支給経費: なし
10. その他特筆すべき事項: 特にありません。